

東京東江戸川ロータリークラブ

国際ロータリー第2580地区 TOKYO HIGASHI-EDOGAWA ROTARY CLUB

人類に奉仕するロータリー

Rotary Serving Humanity



RI会長 ジョン・F・ジャーム

地域社会に奉仕するロータリー

Rotary Serving Community

Rotary



クラブ会長 嶋村 文男

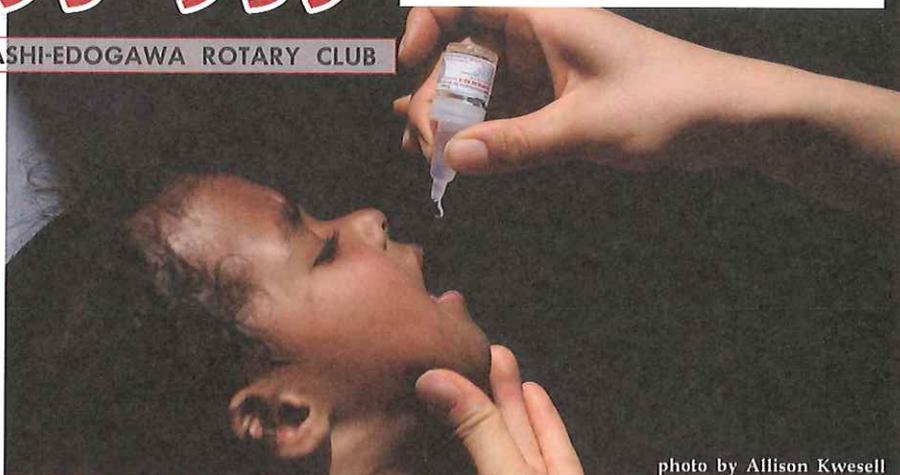


photo by Allison Kwesell

◆例会日◆ 毎週火曜日 12:30~13:30

◆例会場◆ タワーホール船堀 〒134-0091 江戸川区船堀4-1-1 TEL.03(5676)5511

◆創立◆ 1969年9月18日(日本で951番目)

本日の卓話

(紹介者 プログラム委員会)

「ラオスでの食教育
— 学校給食支援での可能性 —」日本女子大学家政経済学部教授
管理栄養士

高増 雅子氏

(米山奨学生モートウザチョウさんの指導教官)

次回の卓話

(紹介者 永井君)

①「インドポリオワクチンNID活動」
東京東江戸川RAC

藤森 夏幸氏

②「ローターアクトの活動報告」

東京東江戸川RAC 会長

荒牧 和沙氏

《 2月21日例会報告 》

点 鐘

ロータリーソング「それでこそロータリー」
「BIRTHDAY SONG」

入会記念日祝



会員誕生日祝

来賓紹介

◎ゲスト 4名

黒川 晃氏 (ゲストスピーカー)

福田圭介氏 (愛国学園IAC顧問教師)

鈴木 舞さん (愛国学園IAC新会長)

土倉 花さん (愛国学園IAC新幹事)

都立白鷺特別支援学校サンドブラスト班

◎ビジター 1名

関口眞司氏氏 (東京江戸川RC)

以上5名

出席報告

会員数	出席	出席率	前々回訂正率
34名	30名	96.77%	100%

会長報告

○愛国学園IACより、新会長・鈴木舞さん、新幹事・土倉花さんご挨拶。

○都立白鷺特別支援学校サンドブラスト班の皆さんよりご挨拶。

今年度当クラブ結婚記念日祝品のワイングラスのサンドブラスト装飾をしていただいています。また、会員誕生日祝品は「ココ・ファーム・ワイナリー」の赤ワインです。

「ココ・ファーム・ワイナリー」とは…

1950年代、栃木県足利市の特殊学級の中学生たちとその担任教師(川田昇)によって山の急斜面に葡萄畑が開墾されました。1969年、この葡萄畑の

会 長 ◆ 嶋村 文男
副会長 ◆ 城戸 国雄
幹 事 ◆ 鹿倉 勇

会報・雑誌委員会 ◆ 石橋正男・多田晃弘・一樹靖人・池田真司
事 務 局 ◆ 〒133-0056 江戸川区南小岩6-31-8 福島ビル2F AのB室
TEL 03(5612)1767 FAX 03(5612)1774
E-mail: e-edogawa@msc.biglobe.ne.jp http://e-edogawa-rc.com

釀で、指定障害者支援施設ころみ学園(社会福祉法人ころみる会運営)がスタートしました。知的障害を持った人たちと葡萄畑でワインづくりを考えましたが、社会福祉法人には葡萄をワインにするための果実酒製造免許が下付されないため、1980年、一般の事業所である有限会社が、ころみ学園園長 川田昇の考えに賛同する父兄たちにより設立され、1984年有限会社樺崎産業(後のココ・ファーム・ワイナリー)として酒類製造免許をいただきました。有限会社ココ・ファーム・ワイナリーは、知的障害を持った人たちをはじめ、みんながいきいきと力を発揮できるようにつくられた会社です。



幹事報告

- 本日PM6:30~柳橋「玉椿」にて、第7回家庭集会開催(ホスト:唐澤君)。
- 2月24日(金)PM3:00~ハイアットリージェンシー東京にて、在京・地区会員増強セミナー開催。嶋村会長、城戸次年度会長、猪野次年度会員増強委員長出席。
- 2月26日(日)PM3:00~日本大学第一中学高等学校3階大会議室にて、(在京)インターアクト表彰授与式開催。岡村地区青少年奉仕副委員長出席。
- 2月27日(月)AM10:10~千葉市民会館3階特別会議室2にて、RLI(ロータリー・リーダーシップ研究会)開催。嶋村会長、鈴木(富)研修委員長出席。
- 「第2回ロータリーファミリー交流会」開催のご案内がまいりました。青少年の牛プログラムに携わる皆様との交流の場として、今回は震災を想定した避難体験を実施し、有事にどのような行動をとれるかを考える機会として開催されます。
日時:2017年3月11日(土)~12日(日)
会場:国立オリンピック記念青少年総合センターセンター棟501号室
登録料:宿泊無し3,000円 宿泊有り5,000円
持ち物:筆記用具、(宿泊の場合)着替え

屋外を歩きますのでカジュアルな服装でお越し下さい。

詳細及び参加ご希望の方は、今週中に事務局までお申し出下さい。

- 「第1回日本RYLAセミナー」ロータリアン参加のお願いのご案内がまいりました。

若者の指導力育成、地区RYLAの活性化、全国の若い指導者のネットワーク構築、RYLAを実施していない地区への情報提供を目的として開催されます。

今回このセミナーに、東京東江戸川RAC・荒牧会長が推薦受講者として出席します。

日時:2017年3月24日(金)PM5:00~

3月26日(月)PM3:00

会場・宿泊場所:全トヨタ労連研修センター
つどいの丘

内容:講演、ワークショップ、発表

登録料:25,000円

主催:第1回日本RYLAセミナー大会委員会

RI第2760地区

RI第2760地区RYLA委員会

詳細及び参加ご希望の方は、今週中に事務局までお申し出下さい。

- (株)熊平製作所様より「抜粋のつづり その七十六」を頂戴し、BOXへ配布しました。

————— 例会臨時変更のお知らせ —————

2月28日(火)

・東京板橋RC → 特別休会

3月3日(金)

・東京城北RC → 移動例会(3/1(水)中央分区IM)

3月8日(水)

・東京臨海RC → 3/7(火)移動例会

(東京臨海東RC創立21周年記念例会)

委員会報告

<研修委員会>

・お詫び(2/7(火)第5回研修委員会休会)の件。

<社会奉仕委員会>

・いじめ防止生徒会フォーラム参加の御礼の学校訪問報告。

<インターアクト委員会>

・2月21日、28日のインターアクト例会について。

<ローターアクト委員会>

・2月のローターアクト例会のご案内。

25日(土)PM6:00~グリーンパレスにて開催。

<地区青少年奉仕委員会>

・RI第2590地区 第33回RYLA参加報告。

《卓 話》

2月21日の卓話は、社会保険労務士・経済産業省認定支援機関、黒川 晃氏の「資金をつくる方法」でした。



ニコニコBOX

本日入金…¥ 30,000
今期累計…¥ 679,500
基金合計…¥10,760,213

関口氏(東京江戸川)…お世話になります。

ニコニコ情報

- ①本日の卓話、社会保険労務士
経済産業省認定支援機関 黒川晃氏の
「資金をつくる方法」に期待いたします。
- ②東京ロータリークラブ・メイクアップツアー
にご参加の皆さま、有難うございました。

三浦君、小佐田君、村山君、鈴木(義)君、阿部君、森本君、平田君、岡村君、田中君、橋本君…①②
今野君…ピンクと黄色のバラがついておりました。
いつもありがとうございます。

猪野君…本日の卓話、黒川氏を宜しくお祈いします。

嶋村君…本日結婚記念日お祝いのワイングラスを製作している都立白鷺特別支援学校の永井先生とサンドブラスト班の生徒さん4名を宜しくお祈いします。

岡村君…本日のボードと、本日のインターアクト例会で、久しぶりに卓話をさせていただきます。

城戸君…東京ロータリークラブにメーカーキャップに行ってきました。岡村さん、いろいろありがとうございました。 計16名

「会長の時間」のポイント

2月21日 テーマ

2月度は「平和と紛争予防/紛争解決月間」です

○平和をつくるロータリー

- ・初期のロータリーは、平和づくりは組織の任務ではなかった。
- ・第一次世界大戦後、国際ロータリーの定款細則に平和づくりが盛り込まれるようになった。
- ・第二次世界大戦に入っていく中でも、ロータリーは国際平和と理解向上に努力をした。
- ・1945年国際連合、ユネスコ設立にロータリーは大きく貢献した。
- ・紛争は大人の責任で繰り返されるなら、ロータリーは平和のメッセージを世界の若者に伝える事を約束。青少年交換プログラムを行い、国際問題を研究する為のロータリーセンターを開設する。
- ・現在6か国(英国、オーストラリア、日本、米国、スウェーデン、タイ)7大学にロータリー平和センターがある。
- ・2002年以来1000名以上の平和センターで学んだフェローが世界の平和構築に貢献している。

米山奨学生期間終了式報告

日 時：平成29年2月3日(金) PM2:00～

場 所：ホテルニューオータニ

参加者 嶋村(米山奨学生カウンセラー)
一柵(米山地区委員)

早いもので、我がクラブがお世話させて頂いた、ミャンマーからの米山奨学生「モートウザチョウ」さんの奨学期間も終わりを迎えます。



思いおこせば去年の僕の誕生日である4月15日、同じホテルニューオータニにて、初めての地区米山委員として、右も左もわからないまま迎えた、「奨学生、カウンセラーオリエンテーション」で、カウンセラーを引き受けた嶋村会長と、やや緊張気味で「モー」さんと対面した時のことを思い出します。

その時の彼女の印象は、背筋を正しく伸ばし、まっすぐな眼差しで奨学会の説明に小さく頷きを繰り返

返す姿は、他の奨学生とあきらかに違う聡明さを感じたとともに、どこか日本人らしさを見たのは嶋村さんも同じだったと思います。

米山奨学会事務局長の岩邊さんからは、多くのロータリアンから「米山奨学生として期待されている事」を、南アフリカのズールー語である「ウブントウ」(他者へのおもいやり)の言葉を交えてお話しされました。

上山ガバナーからは、「出会いを大切に」の通り、「仲間」「同期」「学友」として絆を大切に、平和のかけはしとなって欲しいというロータリアンの想いを伝えて下さいました。

最後に米山親善大使の于咏さんの講演がありました。「私達は無数にある砂の粒だったが、ロータリーという貝に包まれたことで真珠になることが出来た。米山は“人づくり事業”です。第二の古里である日本に恩返しをして欲しい」このお話しをモーさんは頷きながら聞いていました。



例会に来る度にスピーチのレベルがあがっていくモーさん。次のステップも決まり、緊張もとけ、例会ではメンバーと楽しく談笑する姿も、あと少しでお別れです。彼女が米山奨学会と出会った事が生涯の宝となり、一人でも多くの人たちを幸せにし、日本とミャンマーのかけはしとなってくれる事を信じています。



(右)日本女子大学 中村容子国際交流課長

一年間、地区に出させて頂き、米山委員会を通じてより深くロータリーの素晴らしさを学ぶ事が出来ました。次年度、地区の副委員長をおおせつかりましたが、より多くを学び、クラブでの活動へ生かしていきたいと思います。

(記：一 柵 靖 人)

【米山寄付金速報 — 下期の寄付状況 —】

1月までの寄付金は前年同期と比べて5.6%減(普通寄付金2.6%増、特別寄付金9.8%減)、約6,100万円の減少となりました。前年度と比較すると減少額は大きいですが、累計金額としては直近5年間のほぼ平均額となります。

1月は普通寄付金(クラブで決定した金額×会員数分でお送りいただく定期寄付)下期分の納入が主になります。今年度は1月末までに全クラブの76%、1,718クラブから納入いただきました。

引き続きご協力賜りますようよろしくお願い致します。

【貧困学校支援プロジェクトを実施

— タイ米山学友会 —】

タイ米山学友会が1月21日、タイ国中部のスパンブリー県にあるワットブングカー学校を訪問し、「貧困学校支援プロジェクト」を実施しました。参加者は、タイ米山学友会の会員12人と、その家族・友人ら、合わせて28人。ワットブングカー学校からは、教職員4人と、児童40人が参加しました。

当日は、タイ学友会の会員をはじめ、企業や一般の方からの支援で集まった、現金や文房具、制服、スポーツ用品など、勉強と生活に必要なものが児童たちに提供されました。また、参加者は、児童たちと一緒にゲームをしたり、お菓子やアイスを食べたりして、交流を楽しみました。

タイ米山学友会幹事のワシン・テイシャジャイニランさんは、「勉強する環境に困ることなく、子どもたちの輝く未来を願っています」と、活動に参加した学友たちの思いを報告してくれました。

(ハイライトよねやま203号より抜粋)

<お詫びと訂正>

前回の週報ナンバーと回数、年に誤りがございましたので、お詫びして訂正いたします。

(誤) No.27 第2234回 2016.2.21

(正) No.30 第2281回 2017.2.21